

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじん はんしんのうがくはやし れんめいちょうわかい			団体ウェブサイトURL
	一般社団法人 阪神能楽囃子連盟調和会(法人 番号1200-05-017220)			nougaku-hayashi.com
代表者職・氏名	代表理事長 守家紀之			
制作団体所在地	〒	543-0034	最寄り駅(バス停)	JR桃谷駅
	大阪府大阪市天王寺区松ヶ鼻町6-18			
電話番号	06-4981-2777			
ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじん はんしんのうがくはやし れんめいちょうわかい			団体ウェブサイトURL
	一般社団法人 阪神能楽囃子連盟調和会(法人 番号1200-05-017220)			nougaku-hayashi.com
代表者職・氏名	代表理事長 守家紀之			
公演団体所在地	〒	543-0034	最寄り駅(バス停)	JR桃谷駅
	大阪府大阪市天王寺区松ヶ鼻町6-18			
制作団体 設立年月	2014年 5月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	理事長 守家紀之 理事 中田弘美 村上 訓義 山本哲也 監事 清水多香雄		構成員人数:34人(令和3年6月1日現在) 加入条件:阪神地区にて活動を行う能楽囃子方 で、芸事上の後見人もしくは所属する流儀を代 表する立場の者の推薦を得て、理事会の決議 を経た上で、社員総会において社員総数の3分 の2以上による承認を得た者	

事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当を置く	本事業担当者名	上田慎也(連絡先090-8757-0890)
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	村上訓義

制作団体沿革	昭和39年1月 任意団体 阪神能楽囃子連盟調和会 発足 平成26年5月 大阪府の認可を受け一般社団法人に移行		
学校等における 公演実績	過去10回 阪神間の能楽堂において自主公演「和のしらべ」を行う。 関西学院大学・甲南大学・湊川高校(定時制)の能楽部などで囃子の指導を行う。 所属会員が地元の小中学校にてワークショップや子供教室の講師を勤める。 池田市立五月山児童文化センター能楽クラブにて、15年以上指導し、なお継続して指導中。 大阪府立東住吉高校芸能文化科にて20年以上能楽大倉流小鼓の講師を勤め、なお継続中。 平成30年2月 奈良私立すまいる保育園・奈良私立ネオポリス幼稚園にて「ひな祭り五人囃子講座」を園児対象に行う。 平成31年3月 奈良私立すまいる保育園にて19・20・22・25の4日間「能楽五人囃子講座」を園児対象に行う。 令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」の採択を受け、18校にて実施する。 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業」の採択を受け、実施中である。		
特別支援学校等における 公演実績	令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」の採択を受け、大阪府立光陽支援学校にて実施する。		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/jMs8WSUs93Q">https://youtu.be/jMs8WSUs93Q</a> <a href="https://youtube.com/channel/UCua97Ecm">https://youtube.com/channel/UCua97Ecm</a>	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人 阪神能楽囃子連盟調和会(法人番号1200-05-017220)】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	能囃子が奏でる和のしらべ ～室町猿楽バンド～		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	オープニング囃子「早笛(はやふえ)」	3分	
	挨拶 能楽について 演者紹介	5分	
	能管、小鼓、大鼓、太鼓、かけ声について紹介	15分	
	「揉ノ段(もみのだん)」を打ってみよう	12分	
	囃子を指揮してみよう ～みんなの合図でテンポが変わるよ～	10分	
	休憩	10分	
	袴(かみしも)コレクション	10分	
	太鼓の合奏 「舞働(まいばたらき)」に挑戦!	15分	
	室町のリズムを感じてみよう 「鞆鼓(かっこ)から獅子(しし)」	15分	
	質疑応答・終わりの挨拶	5分	
			公演時間 100 分
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>●オープニング囃子「早笛(はやふえ)」 龍神、雷神などの登場に用いられる出囃子です。 力強く、テンポの良い曲は子供たちを能の世界に引き込みます。</p> <p>●挨拶は基本正座、椅子の場合は姿勢正して行います。</p> <p>●囃子(能管、小鼓、大鼓、太鼓)の紹介 能楽で用いられる四種類の楽器を紹介いたします。 ひな祭りの五人囃子のお話を皮切りにして、各々の楽器の特徴を丁寧に解説していきます。 また囃子のリズム、八拍子を躍動感あふれる「揉ノ段」にて疫病退散を願い生徒全員に体験します。</p> <p>●囃子を指揮してみよう 「立廻り(たちまわり)」は「舞働(まいばたらき)」の颯爽とした曲とは対照的などっしりと力強い楽曲です。 今回は特別に太鼓の演奏者が他の三つの楽器の演奏者と背中合わせに座り、子供たちの代表者の挙手に合わせて太鼓がかけ声でリードする様をお見せします。</p> <p>●袴(かみしも)コレクション 能楽で正装の一つとして着用される袴をワークショップ参加者に作製してもらいます。 我々能楽師が着用する袴をクラスやグループ(子供たちの数に応じて)毎にデザインを相談し、作製してもらいます。作製された袴は、袴コレクションとして会場でお披露目します。我々がそれを着用して演奏します。</p> <p>●太鼓の合奏 「舞働(まいばたらき)」をお稽古します。 「舞働」は別雷の神が力強く自然の大いなる力を表現する囃子事(器楽演奏部分)です。 手を太鼓の撥に、ヒザを太鼓に見立て、太鼓の手組「刻(きざみ)」「頭(かしら)」を子供たち全員でお稽古します。 ワークショップ参加者は復習として参加し、本公演のみの参加者はかけ声や太鼓の撥捌きを体験します。 最後は他の囃子演奏者も加わって、「舞働」のお稽古の成果を発表します。 子供たちの代表者(5名程)は舞台上がり、調和会特製の袴を着用し、本物の太鼓で演奏します。ワークショップ時に練習用の段ボール製の特製太鼓をお渡しします。その特製太鼓は記念品として学校に寄贈します。</p> <p>●室町のリズムを感じてみよう 「鞆鼓(かっこ)から獅子(しし)」を演奏します。 当時子供に流行った腰に鞆鼓をつけて撥で打ちながら舞う、軽快なリズムの「鞆鼓」と豪快な獅子が力強く舞い戯れる、迫力十分の「獅子」を聞き比べます。その音楽性の違いや独特な掛け声や気迫を子供たちに感じてもらいます。</p>		

**演目選択理由**

能楽は、室町時代に当時の様々な芸能を集大成させて生まれました。この時代の文化は日本文化の原点とも云われ、「侘び寂び」や「幽玄」と言い表されます。この文化の特徴は表現手法を出来る限りに簡素化するというもので、能楽もその手法を用いています。囃子のみで曲の一部分を紋付袴姿で演じることを素囃子と云いますが、能一曲では1時間以上の演奏時間となりますので、囃子の盛り上がる後半部分を抜粋して、より楽しんで頂けるように素囃子形式で鑑賞頂きます。「鞆鼓」はゆったりとした軽妙なリズムから、目が覚めるような掛け声から始まる大迫力の「獅子」は能楽囃子の至芸ともいえます。しかも特別な掛け声による演奏方法があり、子供たちは「揉之段」や「舞働」で掛け声の重要性を体験しますので、能囃子の高度な技法を頭だけで知るのではなく、身をもって体験できる演目となっています。現在はテレビやインターネットなどで映像化された媒体に接することがほとんどで、頭の中でイメージを作り上げることが少なくなりました。能囃子子供たちが、疫病をも振り払う力強い能囃子のエネルギーを通して想像力を高め、強い精神力をもつきっかけになればと願っております。

**児童・生徒の共演、参加又は体験の形態**

江戸時代には大名同士で袴の柄を競ったという話もありますので、袴キット(6セット程)をワークショップ参加の学年やクラスに配布して、子供たちに能楽師が着用するオリジナルの袴(上のみ)を作製して頂きます。クラスやグループ毎に我々能楽師の着用する袴を作製して頂き、本公演に備えます。本公演参加の子供たちは「揉之段」「舞働」の合奏に挑戦します。小鼓の手組と太鼓の「刻(きざみ)」という手組み(リズムパターン)を稽古します。最後の合奏ではプロの囃子演奏者(笛・小鼓・大鼓)も加わりますので、その力強い息遣いやカケ声を感じることが出来ます。また、その合奏では子供たちの代表者(5名程度)に舞台上がって頂き、調和会特製の袴を着用し、本物の太鼓で演奏をして頂きます。そして、本公演終了後には、特製の段ボール太鼓を記念品として学校にプレゼントします。

**出演者**

囃子方 笛 赤井要佑 小鼓 上田敦史 大鼓 森山泰幸 太鼓 中田一葉  
進行役 上田慎也

<b>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</b>	出演者: 5 名	<b>運搬</b>	積載量: t
	スタッフ: 2 名		車 長: m
	合 計: 7 名		台 数: 台

<b>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</b>	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	9時	9時～10時		10時40分～12時20分	10分	12時半～13時	13時	

<b>本公演 実施可能日数目安</b> <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	14日	4日	20日	21日	
	11月	12月	1月	計	123日	
	20日	16日	18日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

<b>児童・生徒の 参加可能人数</b>	<b>本公演</b>	共演人数目安	1000名(楽器で合奏する児童に加えて、他の児童はかまゑ、手拍子等で共演する)
		鑑賞人数目安	1000名

**公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)**



**※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳**



## 【公演団体名 一般社団法人 阪神能楽囃子連盟調和会(法人番号1200-05-017220)】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	120名
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>能狂言で使用される楽器を体験します。本公演で演奏する太鼓の合奏を中心に稽古します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニング「早笛(はやふえ)」 3分</li> <li>・挨拶 能楽の紹介 7分</li> <li>・楽器の解説 15分</li> <li>・小鼓「揉之段」の稽古 10分</li> <li>・太鼓「舞働」の稽古 10分</li> </ul> <p>休憩10分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器体験(能管・小鼓・大鼓・太鼓) 30分</li> <li>・袴(かみしも)作製の説明 10分</li> <li>・本公演にむけて 5分</li> </ul> <p style="text-align: center;">合計100分</p>		
ワークショップの ねらい	<p>普段耳にすることの少ない能囃子の体験を中心にワークショップを行います。 能楽で使用される4つの楽器(笛・小鼓・大鼓・太鼓)の演奏者4名と進行役1名の計5名で実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●挨拶 能楽の紹介 日本には「礼に始まり礼に終わる」という言葉があります。正座し、背筋を伸ばして、まずは挨拶を交わしてから、ワークショップを開始します。 能は「謡(歌)」「舞」を中心とした演劇であると同時に音楽劇でもあります。今回は器楽の「囃子」のお話を中心に、能の紹介を行います。</li> <li>●楽器の解説 4つの楽器の特徴や演奏方法を解説します。また、能囃子の演奏において欠かせないカケ声の解説と体験も行います。</li> <li>●楽器体験(能管・小鼓・大鼓・太鼓) 能管、小鼓、大鼓、太鼓を体験して頂き、小鼓の音を出す難しさや大鼓を打った時の手の痛さを実感して頂きます。</li> <li>●小鼓、太鼓の稽古 小鼓は「揉之段」、太鼓は「舞働」という囃子事(器楽演奏部分)を体験して頂きます。小鼓は構え方から掛け声、打ち方を稽古し、太鼓は手を撥に、ヒザを太鼓に見立てて、ワークショップ参加者全員で稽古をします。ワークショップ参加者は、本公演での合奏の中心的役割を担いますので、しっかりと稽古を行います。</li> <li>●袴(かみしも)作成の解説 江戸時代に武士の正装の一つであった袴は、現在も能楽公演で用いられています。 調和会特製の袴キット(上のみ)をワークショップ参加の学年やクラスに配布し、作製方法を解説します。 我々能楽師が着用する袴もクラス或いはグループ毎に作製して頂きます。 本公演ではその袴を披露し、我々が着用して演奏を行います。(子供たちの数によってはセクションすることがあります。)</li> <li>●本公演にむけて ワークショップ参加者が本公演の合奏の中心的役割を担いますので、繰り返し稽古できるように稽古用DVDを配布します。 始まりと同様に挨拶をして、ワークショップを終了します。</li> </ul>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>楽器体験について、基本児童は正座姿勢で行いますが、足に怪我等をされた児童については椅子に座り演奏体験をします。太鼓については、楽器も椅子に置いて演奏体験する。能管の体験は、特に事前消毒を徹底して、ウイルス対策する。</p>		